

# 平成 30 年 11 月定例記者会見

【11 月 6 日(火)午後 1 時 30 分／4 階特別会議室】

## 会見項目

- 1 本州四端協議会の取り組みと宮古市開催の交流会議について (企画課)
- 2 平成 30 年度岩手県・宮古市総合防災訓練について (危機管理課)
- 3 平成 30 年度宮古市市勢功労者表彰式について (総務課)
- 4 第 32 回宮古サーモン・ハーフマラソン大会について (生涯学習課)
- 5 高校生しごとメッセ in 宮古について (産業支援センター)
- 6 第 39 回宮古市田老「鮭・あわびまつり」について (田老総合事務所)
- 7 サーモンランドシンポジウムについて (水産課)
- 8 イーストピアみやこ開設記念シンポジウムについて (環境生活課)

## 会見内容

別紙資料 1～8 のとおり。

## 記者との質疑

### **朝日新聞記者**

資料 1 の「本州四端協議会の交流会議」について、5 年ぶりの宮古開催のようですが、今回のテーマというのがありますか。

### **市長**

テーマは決まっていません。これからはどういう取り組みをしていくのが良いかというような話し合いをします。

### **朝日新聞記者**

新しい田老庁舎の整備は来年度中とっていていいですか。

### **市長**

はい、整備は来年度です。

### **m i t 記者**

資料 2 の「防災訓練」について、マスコミ向けに災害対策本部を公開する予定はありますでしょうか。

### **市長**

県との合同訓練として行うため、訓練日程も立て込んでいるところですが、災害対策本部会議のシュミレーションを行っている様子を見ていただきたいと思います。ただ、短時間になりますので、ご了承いただきたいと思います。

**岩手日報記者**

今回初めて行われる訓練というのはありますか。

**市長**

初めてというのはありませんが、避難ビルとなっている宮古高校の屋上からへりを使った救助訓練が予定されています。

**NHK記者**

資料6の「鮭・あわびまつり」について、鮭の数量の確保の状況を教えてください。

**市長**

鮭について数量の確保はできると漁協から聞いています。

**岩手日報記者**

三陸復興プロジェクトについて、宮古市で準備が進んでいることとかありますか。

**市長**

基本計画にオール岩手のお祭りと載っていて、それが当市が会場になるという想定で県と打合せをしている状況です。

## 資料 1 本州四端協議会の取り組みと宮古市開催の交流会議について

### ◆本州四端協議会とは

<p>協議会の 設立の 経緯等</p>	<p>本市は、本州最東端のまちとして知られているが、その認知度はまだまだ低い状況にある。</p> <p>平成16年、地域特性を生かした交流を通して、地域の活性化につなげようと、本州の、東西南北の“最端”にある4つのまちが「本州四端協議会」を設立した。</p> <p>協議会の構成自治体は、西端の山口県下関市、北端の青森県大間町、南端の和歌山県串本町、そして東端の本市。いずれのまちも海に面し、海産物や観光資源に恵まれているという共通点がある。</p>
<p>協議会の 取り組み</p>	<p>(1) 本州四端踏破ラリー</p> <p>4つの最端の地を踏破した人に、「本州四端踏破証明書」と「オリジナル記念品（箸）」をプレゼントしている。</p> <p>(2) 首長交流会議</p> <p>4自治体の首長が集まり、交流事業や広報等PR事業について協議する。毎年、各自治体持ち回りで開催している。</p> <p>平成19年から実施。宮古市開催は、今年が通算3回目。</p> <p>(3) 各自治体の催しに参加</p> <p>宮古市産業まつり と 下関市さかな祭りに出店し、各自治体の特産品を販売している。</p> <p>(4) 旅行情報誌への広告掲載</p> <p>平成29年度は「旅行読売」に広告を掲載した。</p>
<p>マスコット キャラクター</p>	<p>■本州四端協議会PR隊長「よんたん」君</p> <p>本州四端のヒーローとして、マスコットキャラクター「よんたん」君を平成26年10月28日、「本州四端協議会PR隊長」に任命した。</p> <p>先月行われた宮古市産業まつりに登場し、会場を盛り上げた。</p>
<p>特記事項</p>	<p>◎平成21年1月23日には、大規模災害時における相互援助協定を締結。</p> <p>◎首長交流会議（開催実績）： H19 宮古市、 H20 下関市、 H21 串本町、 H24 大間町、 H25 宮古市 H26 下関市、 H28 串本町、 H29 大間町</p> <p>◎協議会の事務局は、山口県下関市に置いている。</p>

◆今年の首長交流会議（宮古市開催）

日時	11月8日(木) 午前8時30分～午後4時45分
場所	① 本州四端首長交流会議 ➡ イーストピアみやこ (市民交流センター多目的ホール) ② 本州最東端鮭ヶ崎踏破 ➡ 鮭ヶ崎 ③ その他(市内視察) ➡ 浄土ヶ浜、田老地区、イーストピアみやこ
内容	① 本州四端首長交流会議【8:45～9:30】 本州四端の首長が、今後の交流について協議する。 (主な内容：交流事業、広報等PR事業の実施報告、平成30年度事業案、平成31年度以降の事業案協議、各市町現状報告) ② 本州最東端鮭ヶ崎踏破【10:30～12:00】 本州最東端「鮭ヶ崎」を踏破し、本州四端のPRを実施。 ③ 市内視察【13:00～17:00】 浄土ヶ浜で昼食後、道の駅たろう、三王園地、三王岩、イーストピアみやこを視察。
特記事項	◎鮭ヶ崎では、踏破を記念して、記念撮影。 ◎浄土ヶ浜レストハウスでの昼食のメニューは、「瓶ドン」。
問い合わせ	市企画課 企画調整係 (☎68-9064)

## 資料 2 平成 30 年度岩手県・宮古市総合防災訓練について

趣旨・目的	東日本大震災津波、岩手・宮城内陸地震及び台風第 10 号等の大規模災害の教訓を生かし、「自助」、「共助」、「公助」の災害対応の総合力の強化を図ることを目的として実施する。
日時	11月10日(土) 午前8時30分～午後0時30分
場所	イーストピアみやこ、第一中学校、宮古小学校 ほか
主催	岩手県、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村、宮古地区広域行政組合消防本部
内容	<p>■訓練概要</p> <p>震度6弱の地震により大津波警報が発令された想定で、高台避難や避難所開設、その他必要な訓練を岩手県と合同で行う。</p> <p>新庁舎（災害対策本部）を中心の会場とし、想定される実際の災害対応に近い形で訓練を実施する。</p>
特記事項	◎宮古市開催の岩手県総合防災訓練としては平成16年以来であるが、今回初めて、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村、宮古地区広域行政組合消防本部といった、広域市町村合同での実施となる。
問い合わせ	市危機管理監 危機管理課 防災係（☎68-9111）

### 資料3 平成30年度宮古市市勢功労者表彰式について

趣旨・目的	公共の福祉と市勢の進展に尽くし、その功績が顕著であって、他の模範と認められる方々を市勢功労者として表彰する。
日時	11月12日(月) 午前10時30分
場所	イーストピアみやこ市民交流センター2階 多目的ホール
主催	宮古市
内容	<p>■表彰式 被表彰者1人1人に、表彰状と記念品を授与する。</p> <p>■記念写真撮影 表彰式終了後に被表彰者全員で記念写真撮影を行う。</p>
特記事項	<p>◎市勢功労者8人の内訳は、 自治功労2人、 納税功労1人、 民生功労2人、 産業功労1人、 統計功労1人、 治安功労1人。</p> <p>◎被表彰者の氏名や功績などは、配布資料のとおり。</p> <p>◎市民に明るい希望と活力を与えることに顕著な業績があった人を表彰する「市民奨励賞」は、該当者なし。</p>
問い合わせ	市総務課 行政係 (☎68-9061)

## 資料4 第32回宮古サーモン・ハーフマラソン大会について

趣旨・目的	市民の皆さんにマラソンに親しんでもらい、健康増進を図るとともに、遠来のランナーには、鮭を中心とした宮古の魅力をアピールし、宮古市の復興に資することを目的とする
日時	11月11日(日) 午前8時
場所	宮古消防署前広場(大会本部)
主催	宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会 (宮古市、宮古市教育委員会、(株)エフエム岩手、(一財)宮古市体育協会 他)
内容	<p>■申込数合計 3,120人(昨年比 ▲159人)</p> <p>■申込数内訳</p> <p>ハーフの部 …………… 850人(昨年比 ▲84人)</p> <p>10kmの部 …………… 1,054人(昨年比 ▲72人)</p> <p>5kmの部 …………… 396人(昨年比 ▲7人)</p> <p>ペアの部 …………… 820人[410組](昨年比 +4人)</p> <p>■スタート時間とスタート順</p> <p>8:55/5km ➡ 9:40/ハーフ ➡ 10:00/10km ➡ 10:10/ペア</p>
特記事項	<p>◎ハーフマラソンのコースは、宮古地区合同庁舎をスタートし、宮古水産高校付近を通り、金浜を折り返し、合同庁舎まで戻る、昨年と同じコース。</p> <p>◎ゲストランナーとして、箱根駅伝4連覇中の青山学院大学陸上競技部から3人の選手が、ハーフの部に出場する。</p> <p>◎ハーフの部または10kmの部を完走した選手の中から抽選で3人に、「東京マラソン2019」の出走権を贈呈する。ただし、東京マラソンの参加条件を満たしている人とする。</p>
問い合わせ	宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会(市民総合体育館内、☎62-6000)

## 資料5 高校生しごとメッセ in 宮古について

<b>趣旨・目的</b>	宮古公共職業安定所管内の高等学校に在籍する生徒及び保護者を対象に、管内事業所の事業内容（製造品や施設のサービス内容等）について、事業所単位で設置するブースにおいて説明を行い、地元産業への理解を深め、管内就職の促進を図る。
<b>日時</b>	11月21日(水) 午後0時30分～3時50分
<b>場所</b>	市民総合体育館（シーアリーナ）
<b>主催</b>	宮古地域雇用対策協議会
<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■管内各産業の事業所ブース訪問                      関心を持った事業所ブースを訪問して、事業内容などの説明を聞く。                      12:40～13:40 1回目                      14:50～15:50 2回目</li> <li>■先輩社会人を迎えてのトークセッション                      地元で働く先輩社会人に疑問・質問に答えてもらうトークセッション。                      14:00～14:30</li> <li>■参加対象者                      管内高等学校に在籍する高校1年生及び保護者、管内高等学校教諭</li> <li>■参加事業所                      27社</li> </ul>
<b>特記事項</b>	◎昨年度の開催実績 参加学校数 8校 参加者数 628名(生徒581名、教諭41名、保護者6名) 参加事業所数 27社
<b>問い合わせ</b>	宮古地域雇用対策協議会（宮古公共職業安定所内、☎63-8609）

## 資料6 第39回宮古市田老「鮭・あわびまつり」について

趣旨・目的	<p>復興に向けた観光イベントとし、全国各地より支援をいただいた方々に感謝の気持ちを込め、魅力ある宮古市の特産品を広くPR・直売することにより、イメージアップと地域、産業の復興・活性化を図る。</p> <p>また、三陸ジオパークを広く周知するため、ジオサイトである「津波遺構たろう観光ホテル」の一般公開を同時開催する。</p>
日時	<p>11月23日(金・祝) 午前9時～午後3時30分          24日(土) 午前9時～午後3時15分</p> <p>◆「津波遺構一般公開」は、両日とも午前10時～正午</p>
場所	<p>道の駅たろう隣イベント会場（田老町漁業協同組合ビル西側）</p> <p>◆「津波遺構一般公開」は、津波遺構たろう観光ホテル</p>
主催	<p>田老観光イベント実行委員会</p>
内容	<p>■あわびとり体験 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">23日・24日</span> 11:00～、13:30～          各日40人（20人×2回）※抽選で参加者を決定          参加料1人1,000円。2分間で2枚まで（補償枚数1枚）</p> <p>■鮭汁のお振る舞い <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">23日・24日</span> 11:50～          各日500食予定</p> <p>■海鮭のつかみどり体験 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">23日・24日</span> 11:30～、14:00～          各日100人（50人×2回）※抽選で参加者を決定          参加料1人1,500円。2分間で1本限り（補償本数1本）</p> <p>■その他のイベント等 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">23日・24日</span>          姉妹都市八幡平市の特産品コーナー、餅まき、田老一中太鼓、          瀬口侑希歌謡ショー、バンド演奏、あわびとりゲームコーナーなど。          海産物・農産物等の販売。</p> <p>◆「津波遺構一般公開」は、入場無料。事前申し込みも不要。</p>
特記事項	<p>◎昨年の入場者数 約13,000人          ◎昨年の出店者数 26店舗</p>
問い合わせ	<p>田老観光イベント実行委員会（田老総合事務所内、☎87-2971）          ※津波遺構一般公開は、市観光課ジオパーク推進係（☎68-9091）</p>

## 資料7 「サーモンランドシンポジウム」について

趣旨・目的	当市の主力魚種である「サケ」について、市民や関係団体と学習し、資源管理の大切さやサケとの関わり、鮭文化の継承、消費拡大、食育そして水産振興につなげていく機会とする。
日時	11月27日(火) 午後1時30分～午後4時（開場は午後1時）
場所	市民文化会館
主催	宮古市
内容	<p>■基調講演（大ホール／午後1時35分～2時35分）          講師：「さかなクン」（東京海洋大学名誉博士・客員准教授）          講演タイトル：さかなクンのギョギョッとサーモンのお話          ～サケを育む自然の恵みを未来へ～</p> <p>■各種展示（展示室／午後1時～4時）          鮭加工商品紹介、鮭料理の展示、「本州一のサケのまち」の紹介          岩手日報社の「サケの乱」内容パネル展示</p> <p>■パブリック席（中ホール）          大ホールに入りきらない場合のパブリック席を中ホールに用意。</p>
特記事項	<p>◎入場無料。入場制限をする場合があります。</p> <p>◎宮古市内小学5年生を招待</p> <p>◎来場者にサーモンランドシンポジウム記念の缶バッジを配布（先着1,000人）</p>
問い合わせ	市水産課 水産振興係（☎68-9099）

## 資料8 イーストピアみやこ開設記念シンポジウムについて

<p><b>趣旨・目的</b></p>	<p>宮古市中心市街地拠点施設（イーストピアみやこ）内の市民交流センターには、様々な貸室等があり、「市民の交流と活動及び情報発信を支援する場を提供」し、市民の協働を推進する拠点としての役割が期待されている。</p> <p>本シンポジウムでは、東日本大震災以降に県内あるいは本市で展開されてきた市民活動団体等の実践事例を通して、市民協働に関する理解と関心を高めるために開催するものである。</p>
<p><b>日時</b></p>	<p>12月1日(土) 午後1時30分～4時30分</p>
<p><b>場所</b></p>	<p>イーストピアみやこ 市民交流センター（2階） 多目的ホール</p>
<p><b>主催</b></p>	<p>宮古市、一般財団法人自治総合センター</p>
<p><b>内容</b></p>	<p>イーストピアみやこ開設記念事業「みやこ・未来創造・シンポジウム」 ～ 第2回・市民協働のまちづくり ～</p> <p>■①基調講演</p> <p>◇講師：特定非営利活動法人いわてNPOフォーラム21 代表理事 浅沼道成（あさぬま みちなり）さん</p> <p>◇演題：「協働で つながろう！ みやこの未来へ」</p> <p>■②パネルディスカッション</p> <p>◇テーマ：「オールみやこのまちづくり！ ～東日本大震災以降の市民活動を振り返って、地域創生を考える～」</p> <p>◇コーディネーター： 宮古市市民自治推進委員会委員長 岩手県立大学研究・地域連携本部 特任教授 植田真弘さん</p> <p>◇パネリスト： NPO法人<sup>てんからしゃ</sup>点空社 副代表理事 藤尾<sup>ともこ</sup>智子さん 田代おもしろプロジェクト<sup>ひろとし</sup>外実行委員会 代表 村上裕敏さん 株式会社日々旅 代表取締役 加藤洋一郎さん</p>
<p><b>特記事項</b></p>	<p>◎定員は150人。入場無料。申し込みは11月28日(水)まで。</p> <p>◎この事業は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて開催するものである。</p> <p>◎第1回は、「防災・減災のまちづくり」をテーマに11月3日に開催。</p> <p>◎市民協働に関する市の支援制度を紹介予定。</p>
<p><b>問い合わせ</b></p>	<p>市環境生活課（☎68-9080）</p>